



Network Organization for Research and Technology in Hokkaido, NPO.



The 25th NORTH Internet Symposium 2019

【テーマ】

AI、IoT、ブロックチェーン、セキュリティの先端技術動向
— SDGs：持続可能な開発目標と高度ネットワーク社会の未来?!! —

インターネット技術の長足の進歩を基盤に「情報通信技術(ICT)」は、飛躍的スピードで拡大・進展を遂げ続けており、私たちの社会生活に欠かすことのできない『社会基盤』となっております。

地域社会に目を向けるとき、低出生率と少子化、これに伴う全年齢層における高齢化、遠隔地域・離島などの過疎化・限界集落化などの諸問題が噴出し、解決の糸口を見出すことが非常に困難様相を呈しております。さらに、我が国のみならず、世界的にも格差の拡大が刮目すべき喫緊の課題となっていることは周知の事実であります。

本シンポジウムの副題として掲げる『SDG(Sustainable Development Goals): 持続可能な開発目標』は、2015年9月の国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するために17のゴールと169のターゲットから構成されています。その主眼は、地球上の誰一人として取り残さない【leave no one behind】ことを誓い、全世界が行動する普遍性と、誰一人取り残さない包摂性、関係の全ての人々が参画し、社会・経済・環境等の統合的取組み、さらには持続的な透明性の確保が謳われており、全世界が未来に「継承し得る」現実世界の創出に向かおうとする骨子のもと、行動展開が図られています。

情報通信技術(ICT)は、これらを有機的に、垂直・水平統合するインフラとして機能し得ることは、論を俟ちません。

一方、操作性が容易でありかつ「ネットワーク」接続を意識することなく利用できる様々な機器・端末や、コミュニケーション手段としてのソーシャル・ネットワーキング・サービス[SNS]の普及により、幾何級数的膨大さをもつデータ・情報への曝露は、様々な社会的各層に於ける諸問題を惹起し、データ・情報の真正性が問われる環境となっております。

このような現今内外の諸状況を踏まえ、真の「安全・安心」な地域社会の創出にあたり、様々な角度からの影響や課題、解決策などに関して、知見・識見を有する多彩な識者を道内外よりお招きし、基調講演・特別講演などを企画致しております。

【日時・会場】

日時：平成31年2月15日(金)／9:00～18:00

会場：国立大学法人 北海道大学 学術交流会館 第一会議室

<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/map/map4.htm>

http://www.hokudai.ac.jp/veteri/coe/event/map_gakujuutu.html

※札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅より徒歩7分



北海道大学 学術交流会館正面(北海道大学HPより転載)

【主催】特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会【NORTH】

【共催】独立行政法人 日本学術振興会 産学協力研究会インターネット技術第163委員会【ITRC】
ユニバーサル・アクセス技術普及・実践分科会[UAT]/医療情報ネットワーク連携分科会[MINX]

【後援】

経済産業省 北海道経済産業局
総務省 北海道総合通信局 [予定]
国土交通省 北海道開発局
北海道
北海道経済連合会
北海道公立大学法人 札幌医科大学
一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター



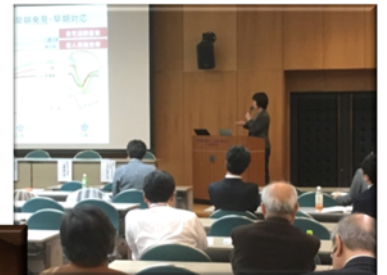
【対象分野】

以下、情報通信技術(ICT)の利活用による医療、教育・研究開発、地域サービス、地域社会・生活空間創成、これらに関連するサービス事業、および広範・多彩な分野よりのご発表・ご報告をお願いしております。

- * 情報通信技術(ICT)一般
- * インターネット技術一般、ネットワーク構築・運用・管理手法。
- * 最新技術・先端技術についてのレビュー、実運用やそのノウハウ。
- * クラウド・コンピューティングやそのサービス。
- * 医療/ヘルスケア・介護・福祉分野への応用。
- * 基礎・臨床医学、地域医療・遠隔診断等
- * 医療情報学、介護情報学
- * デジタルコンテンツ流通基盤の構築および利活用。
- * 生体センシング技術・センサネットワークやその応用。
- * 教育、防災・減災、環境保全へのネットワーク技術の応用展開。
- * セキュリティ
- * もののインターネット (Internet of Things: IoT)
- * 人工知能 (Artificial Intelligence: AI)とオントロジー(Ontology)
- * SDN (Software-Defined Network: SDN)
- * ビッグ・データ (Big Data: BD), データウェアハウス (Data Warehouse: DWH)
- * 統計解析、データ分析、Big Data等
- * 社会システム設計、構築
- * 知的財産、情報倫理
- * 学術情報
- * ICTと経済
- * Block Chain
- * その他社会一般



シンポジウム・パネルディスカッション



【発表について】

NORTH 会員をはじめ、学術関係者、官公庁・自治体及び公共団体、医療関係者、各種団体、北海道経済連合会参加企業、その他広く一般よりご登壇頂きます。

【参加について】

本シンポジウムは、一般公開のシンポジウムであり、自由なご参加が可能です。

【参加費：無料】

*ご登壇・ご発表につきましては、別途お申込が必要です。

【論文集の発刊】

本会では、毎年シンポジウムの開催に併せ、論文・総説・発表資料集「Proceedings of NORTH internet Symposium ISSN: 1345-0247」(査読付論文誌)を発刊致しており、ご登壇発表の全発表関連資料が採録・掲載されます。【別途、ご希望の方に頒布致します】

AI、IoT、ブロックチェーン、セキュリティの先端技術動向
 — SDGs：持続可能な開発目標と高度ネットワーク社会の未来?!! —

以下、敬称略

9:00～

開場

9:20～9:30

開会挨拶

辰巳 治之, NORTH 理事・会長/札幌医科大学 教授

9:30～10:30

1G-1 一般口演セッション I [3 席]

■ SDGs・社会福祉分野① ■

1G-1-1 「遠隔医療による地域医療支援」

新見 隆彦, 札幌医科大学大学院医学研究科 助手

1G-1-2 「SHIEN-ology と SDGs と私たちの未来」

伊藤めぐ, 一般社団法人 SHIEN アカデミー理事, NPO 北海道クラブ 代表
Café tone 代表

1G-1-3 「テックサプライの SDGs への取組み

～ CO2 削減と循環型社会、地域経済の発展を目指して ～

幡 優子, 株式会社テックサプライ 代表取締役

10:30～10:40

— 小憩 —

10:40～11:40

1G-2 一般口演セッション II [2 席]

■ SDGs・社会福祉分野② ■

1G-2-4 「北海道デジタル彫刻美術館の構築戦略について」

橋本 信夫, 札幌彫刻美術館友の会・北海道大学 名誉教授

1G-2-5 「抗ウイルス剤を使っためまいの治療—「情報薬」への発展」

七戸 満雄, 札幌医科大学大学院医学研究科 研究員

○

11:40～12:40

— 休憩・昼食 —

12:40～14:55

来賓挨拶

栗田 悟, 一般社団法人 北海道建設業協会 副会長

13:00～14:00

1S-1 シンポジウム基調講演

「AI 便乗サービスによる都市の活性化(SDG11)」

中島 秀之, 札幌市立大学 理事長・学長

14:00～14:10

— 小憩 —

14:10～15:10

1G-3 一般口演セッション III [2 席]

■ 医療 ICT・ブロックチェーン分野 ■

1G-3-6 「ブロックチェーンと IoT (Internet of Things) :

Full-Powered Medicine を目指して、「情報薬」開発とそのサービス産業創出」

辰巳 治之, 札幌医科大学大学院医学研究科 教授

1G-3-7 「IoT ベース医療ヘルスケア関連サービスの開発」

藤野 雄一, 公立ほこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 教授

15:10～15:30

— 小憩 —

15:30～16:30

1G-4 一般口演セッション IV [3 席]

■ SDGs セキュリティ・先端情報技術分野 ■

1G-4-8 「D-Link クラウド管理型 Wi-Fi を活用した観光利活用と災害時利用について」

石原 幹夫, ディーリンクジャパン株式会社 マーケティングコミュニケーション部 部長

1G-4-9 「社員の見守りによる働き方変革」

河野 克典, 富士ゼロックス株式会社 コミュニケーション技術研究所 グループ長

1G-4-10 「一人 CSIRT を実現する ～ Fortinet セキュリティーファブリック ～」

井上 祥二, フォーティネットジャパン株式会社 シニアアカウントマネージャー

16:35～17:45 1S-2 会長講演

「情報薬」：type II (EST: Electrical Signaling Therapy)

社会応用:心の病克服への挑戦」

辰巳 治之, NORTH 理事・会長/札幌医科大学 教授

17:45～17:50

情報交換会ご案内[NORTH シンポジウム実行委員会]

シンポジウム終了後の夕刻、登壇者、参加者、本会会員の皆さまが一堂に会し、情報交換、協業機会の創出などの場として開催されます。

会 場: 『エスト・エスト・エスト』(ホワイトキューブ札幌 1F・写真枠内)

参加費: ￥4,000(税込)/1名 【2月15日(金)18:30開会】

※事前申込をお願い致します。[申込先: shimmi@sapmed.ac.jp]

※参加費につきましては、シンポジウム会場受付にて、お預かり致します。

※領収書をご希望の方は、事前にお知らせ
願います。



SAPPORO バリアフリータウンマップより転載



《 ホワイトキューブ札幌 》

札幌市北区北 9 条西 2 丁目 4-1

○●○○●○ MEMO ○●○○●○

※本プログラムは、本会 HP[URL: <http://www.north.ad.jp/>]に掲載されています。

— 情報交換懇親会参加のみなさま —

《 会場案内図 》

会場へのアクセス： 徒歩にて7～8分程度です。



会場名： 「**osteria EST EST EST**」 (エストエストエスト)

所在地： 札幌市北区北9条西2丁目4-1 ホワイトキューブ札幌1階

電 話： (011)746 - 3389

※ 札幌第一合同庁舎の北側に当ります。

参加費： 4,000円／1名

※ 領収書をご希望の方は、シンポジウム会場受付にお申し付け下さい。

第 25 回 NORTH インターネット・シンポジウム 2019

— シンポジウム基調講演 講師略歴 —



講師近影

氏名	中島 秀之 (なかしま ひでゆき)
所属	公立大学法人 札幌市立大学
職位	理事長・学長
学歴	東京大学大学院情報工学専門課程終了(1983 年)
略歴	1983 年 電子技術総合研究所入所 2001 年 産業技術総合研究所 サイバーアシスト研究センター長 2004 年 公立大学法人 公立はこだて未来大学学長 2016 年 東京大学先端人工知能学教育寄付講座特任教授 2018 年より現職.
学位	工学博士
所属学会等	認知科学会元会長 情報処理学会元副会長・元編集長 サービス学会編集長 情報処理学会・人工知能学会・認知科学会各フェロー
主要編著書	人工知能—その到達点と未来 (小学館) 人工知能革命の真実—シンギュラリティの世界 (WAC) 知能の謎 (公立はこだて未来大学出版会) Handbook of Ambient Intelligence and Smart Environments(Springer) 知能の謎 (講談社ブルーバックス) AI 事典 (共立出版) 思考 (岩波講座認知科学8) Prolog (産業図書) その他多数

第25回 NORTH インターネット・シンポジウム2019

— シンポジウム会長講演 講師略歴 —



講師近影

- 氏名： 辰巳 治之（たつみ はるゆき）
- 所属： 北海道公立大学法人 札幌医科大学 大学院医学研究科 生体情報形態学
- 職位： 教授/医師
- 学歴： 1982年3月 山形大学医学部卒
- 1984年7月 大阪大学大学院医学部
- 略歴： 1984年8月 大阪大学医学部 助手[解剖学]
- 1988年4月 大阪大学医学部 講師[解剖学]
- 1989年4月 札幌医科大学医学部 助教授[解剖学]
- 1995年8月 札幌医科大学医学部 教授[解剖学]
- 1999年4月 札幌医科大学 附属情報センター所長(兼任)
- 札幌医科大学 評議員 (～2002年3月31日)
- 2006年4月 札幌医科大学 学長補佐、標本館長
- (～2010年3月31日)
- 現在に至る。
- 学位： 医学博士(1987年:大阪大学)
- 専門分野： 解剖学, 情報科学, 医療情報学
- 所属学会等： 一般社団法人 日本解剖学会 評議員
- 公益社団法人 日本顕微鏡学会 北海道支部役員
- 一般社団法人 日本医療情報学会
- 日本学術振興会 産学協力研究会 インターネット技術第163委員会 運営委員
- 社会的貢献： 札幌医科大学白菊会 世話人(平成元年～)
- 特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会[NORTH])
- 理事・会長(1993年～)
- 医療情報ネットワーク相互接続研究会[MDX](1997年～)
- 特定非営利活動法人 医療福祉クラウド協会[MeWCA] 副理事長
- 特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会 理事長(1998年～)
- 特定非営利活動法人 札幌シニアネット・小樽しりべしシニアネット 顧問
- 特定非営利活動法人 楽市楽画 理事
- 特定非営利活動法人 地域医療情報連携推進機構(RHII) 理事(2012年～)
- 地域医療福祉情報連携協議会(RHW) 幹事
- 一般社団法人 日本ネットワーク情報センター(JPNIC) 理事(2013年～)
- (非営利・地域担当)
- 受賞等： 1997年 北海道知事賞
- 2000年 北海道医師会賞受賞,
- 2003年 北海道総合通信局長表彰

◆法人概要

設立：	団体設立：平成 5(1993)年 6 月 18 日 法人認可：平成 15(2003)年 1 月 30 日
目的：	この法人は、北海道に於けるネットワークの快適化や、急速な情報通信技術(ICT)化に対応した市民支援と啓発、本道における情報リテラシーの向上等を企図し、シンポジウムやフォーラム・セミナーの開催、技術研修の実施、産学官の研究・交流推進、人材育成等、情報通信基盤の確立による道民の啓発・理解の深化を目指し、豊かな生活の向上に貢献する事を目的として創立されました。
会員数：	団体会員：20 団体・企業 個人会員：15 名
役員等：	理事・会長 辰巳 治之 [札幌医科大学 大学院医学部医学科 教授] 理事・副会長 浅野 行藏 [北海道大学 大学院農学研究科 特任教授] 理事・副会長 魚住 超 [元室蘭工業大学 准教授] 理事・副会長 田畑 善基 [東日本電信電話株式会社 北海道法人営業部長] 他、理事 4 名、監事 2 名
事務局：	〒065-0022 札幌市東区北 22 条東 1 丁目 2-17 株式会社テックサブライ内 e-Mail: info@north.ad.jp / shimmi@sapmed.ac.jp

◆シンポジウム：開催経過

特定非営利活動法人 北海道地域ネットワーク協議会【NORTH】は、道内各大学間をインターネットを介し接続する研究をもとに誕生しました。インターネット・シンポジウムは、研究・実証実験の途上、平成 7 年 2 月北海道大学学術交流会館に於いて情報交換を兼ねた研究会開催を嚆矢としています。

その後、社会的インフラとしてのインターネット環境構築を提唱し、学術分野系・大学間連携にとどまらず企業・団体などへの働き掛けが功を奏した結果、加入会員も企業・団体、更には一般個人に拡大しています。

これに伴って、本シンポジウムにおいても取り上げられる課題が、通信接続技術に限らず、応用技術やアプリケーション分野、地域社会に於ける多種多様な領域に拡大・網羅されると共に、道内外の企業による発表も増加の一途を辿っています。

近年 IoT(もののインターネット)や AI(人工知能)に代表されるとおり、情報環境は、大きく変遷し進展し、また情報機器の軽量化・高機能化、通信技術(ICT)の発達に伴い、インターネットはもはや社会基盤として定着しております。

これら諸事象は、本会の創立当初において描いていた将来像を大きく上回って増殖・拡大を続けており、本会はこれまでの活動主軸であるインターネットの普及促進を一歩進め転じ、地域社会各分野における利活用・応用展開、情報通信リテラシーの向上、技術者養成を含む ICT 人材の育成や多様な分野での共同研究等に力点を移して参りました。

本シンポジウムは、以上を念頭に広域医療ネットワーク実証事業、周産期医療支援等をはじめとする各種プロジェクトの報告や新たな課題への提言等を加えるに至っています。

特に 2010 年以降、北海道大学情報基盤センターとの共同研究の一環としても位置付けられており、活発な研究交流が行われています。

本会は、情報通信技術(ICT)と社会応用・設計の両面をサポートし、医療・福祉・介護など地域の様々な課題を解決すべく、『地域の架け橋』『Liason』となり得る潜在的機能を有する、唯一の非営利法人ということが出来ます。

◆開催趣意：NORTH の目指すこと。

- 1) 情報通信技術(ICT)の普及促進及び地域啓発。
- 2) 各種地域サービスにおける ICT の応用並びに提言。
- 3) 本道に於ける情報通信基盤整備促進。
- 4) 技術者養成を含む人材の育成。
- 5) 産学官間の研究、及び交流、情報共有。
- 6) インターネット活用事例の紹介・発表。
- 7) ICT リテラシーの向上に係る提言。

以上。



特定非営利活動法人

北海道地域ネットワーク協議会

Network Organization for Research and Technology in Hokkaido, N.P.O.